

## 「産学官」パワーで復興・再生へ

芝浦工業大学大学院教授  
谷口博昭

東日本大地震から早4カ月、多くの国民の不安を解消出来ずにいる。福島原発の安定化はじめ、がれき処理、仮設住宅建設、下水道等の復旧も途半ばではあるが、全体像が見えてこない、道筋が定かでない。その結果、東京と地元とのギャップを埋められていないからであろう。復興については、復興基本

法、復興構想会議の提言を基に、必要な財源・法制度等の措置を行い、国と地元とのパートナーシップで一致協力して事に当たる事である。原子力の事故調査・検証委員会も発足したが、責任のなすり合いでなく、復旧・復興の目途を早くつけることに全力を傾ける必要がある。そのためには、政治の決断と責任

で方針を明確にすることが不可欠だ。その方針のもと、産学官の知恵と力を結集し、復旧・復興のスピードアップを図ることである。復旧・復興なくして日本の再生なし！弘法大師は『物の興廃は必ず人に由る』と言っている。人材育成が国の興廃を左右するとの教えである。平時には分からないことが、非常時の危機管理の時には分かるものだ。人材枯渇が露呈。家庭、地域、学校、国

を挙げて、各界各層に亘る幅広い人材育成に取り組むことが必要だ。特に、国難とも言われるピンチをチャンスにする「知恵」、大きな価値観を共有出来る「慈悲」の心を強調したい。21世紀は、グローバル化・人口減少シフト、少子高齢化・人口減少などかつてない大きな変化の時代である。復旧・復興を成し遂げ、イノベーションによりこの大きな変化を乗り越えられることを祈念したい。